

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場所を使用する。補助競技場では、トラック競技・跳躍競技の練習を行うことができる。投てきの練習については、補助競技場と第2ゲート外砲丸投ピットを利用すること。
- (2) 競技場内での練習は審判員の指示に従う。投てきの練習には特に安全に注意して行うこと。
- (3) 棒高跳の練習については、大会当日8:30から主競技場内を使用することができる。ハンマー投は競技開始60分前から主競技場で練習することができる。（練習会場使用日程表参照）
- (4) 雨天練習場使用について・・・シート等の使用により独占的な使用を絶対にしないこと
 - 2～4レーンは第3ゲートから第2ゲートへの同一方向走行とする。
 - 1, 5レーンを周回のみとし、逆走は絶対にしないこと。
 - ハードルは使用できない。

3. 招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場第3ゲート付近に設ける。
- (2) 招集時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク	25分前	15分前
フィールド（棒高跳、ハンマー投を除く）	40分前	30分前
フ ィ ー ル ド（棒高跳）		60分前（現地招集）
フ ィ ー ル ド（ハンマー投）		30分前（現地招集）

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は招集開始時刻に、招集所・競技者控所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
 - ② 招集所・競技者控所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による点呼は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所の競技者係に2種目同時出場届を提出する。
 - ④ リレー競技に出場するチームは、その種目の招集完了時刻の1時間前までに競技者招集所に用意しているオーダー用紙にオーダーを記入し、1枚提出すること。
 - ⑤ 棒高跳の点呼は競技場で行う。点呼終了後は公式練習に入る。公式練習は2回に分けて実施する。
 - ⑥ ハンマー投の点呼は競技場で行う。点呼終了後は公式練習に入る。公式練習は2回に分けて実施する。
 - ⑦ 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所の競技者係に欠場届を提出すること。

4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外グラウンド内に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- (4) トラック競技（セパレート種目）において、8名（8チーム）以内の場合は2～9レーン、9名（9チーム）の場合は1～9レーンで行う。
- (5) トラック競技の判定は、全て写真判定装置（全自動電気計時 1/100）で行う。
- (6) 4×100m リレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー（1カ所）を使用することができる。マーカーは監察係が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (7) 4×400m リレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと（出発係の指示）。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。

- (8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを、2カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。
- (9) 携帯電話等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (10) 競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第 146 条に基づき、正式に結果が発表されてから 30 分以内に、次のラウンドが行なわれる種目では 15 分以内に、当該競技者自身または、顧問が口頭で審判長に申し出ること。

5. 競技用シューズについて

- (1) スパイクの長さは 9 mm をこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は 12 mm をこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が 4 mm 以内でなければならない。また、スパイクの数は 11 本以内であれば何本でもよい。
- (2) WA 規則第 143 条の TR5 の規定外シューズ（トラック競技での厚底シューズ使用）については招集所で厚さチェックを行う。「フィールド競技用シューズ TR5.5 については、本大会では適用除外とする。

6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された大きさ（縦 16 cm×横 24 cm）で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。また 800 m 以上のトラック競技者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの右後方に付けること。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック 2021「競技会における広告および展示物に関する規定」の通りとする。

以下「抜粋」

(1) 上半身の衣類

a) ウインドブレーカー・Tシャツ・トレーナー類

製造会社名／ロゴ：1箇所

文字の高さ 5 cm 以内、トータルのロゴの高さは 5 cm 以内で、40 cm²以内の長方形。

b) ランニングベスト・レオタード

製造会社名／ロゴ：1箇所

文字の高さ 5 cm 以内、トータルのロゴの高さは 5 cm 以内で、40 cm²以内の長方形。

(2) 下半身の衣類

製造会社名／ロゴ：1箇所、文字の高さ 5 cm 以内、面積 40 cm²以内。

(3) ソックス

製造会社名／ロゴ：1箇所、高さ 3 cm 以内、面積 6 cm²以内。

(4) その他の衣類（帽子・サングラス・手袋など）

1つにつき 1箇所、面積 6 cm²以内。メガネ、サングラスなどは2箇所まで表示することができる。

(5) バッグ

製造会社名／ロゴ：2箇所、面積 40 cm²以内。

(6) 商標違反時の対応

着替えさせる（裏返しにさせる）・テープを貼って隠す。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝については、主催者が公平に組み、レーン順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。
- (3) リレーチームの編成メンバーは、その競技会リレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。また、リレー競技に出場するチームは、同一デザインのユニフォームで参加しなければならない。
- (4) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者（同着）が出たとき（以下同タイム者という）は、下記の方法で決定する。

- ①100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mHの同タイム者については、判定写真を拡大し細部まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できないときは、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンが不足する場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ②1500m・3000m・5000m・3000mSC・5000mWの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。個人所有のポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。
- (2) 練習用として個人の用具は競技場に持ち込んではならない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m60(練習) 1m75(練習)	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	以降 3cm
	女子	1m35(練習)	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	以降 3cm
棒高跳	男子	3m20(練習) 4m40(練習)	3m30	3m50	3m70	3m90	4m00	4m10	以降 10cm
	女子	1m90(練習) 2m60(練習) 3m40(練習)	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	以降 10cm

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

11. 競技場の入退場について

- (1) トラック競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。
- (2) フィールド競技の競技者は係員の指示に従って入退場する。但し、棒高跳およびハンマー投の選手は各自で入場する。
- (3) フィールド競技の入賞者は当該審判員が、トラック競技の入賞者は係員が表彰者控所に誘導する。

12. 表彰およびインタビューについて

- (1) 各種目第3位までの入賞者はユニフォームで表彰を受けること。その際入賞者は決勝終了後入賞者控場所（正面玄関ロビー内）で待機し、係員の指示を受けること。
- (2) 入賞者のインタビューは、入賞者控所で行う。

13. その他

- (1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 更衣は雨天練習場の男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、陸上競技場本部の記録証交付係に記録証交付願及び交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は正面玄関2Fの記録掲示板に掲示する。
- (5) 競技場内でテントを張れる場所はバックスタンド2階通路より上の場所に限る。横断幕・部旗・のぼり等については、メインスタンドを除く、バックスタンド2階通路より上、ただし個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (6) 発声による応援は、一切禁止とする。
- (7) その他、詳細については事前監督会議で説明する。
- (8) 届け出用紙は以下の場所に用意してある。
 - ・2種目同時出場申請書・棄権届・リレーオーダー用紙・・・招集所競技者控え場所
 - ・記録証明書交付願・抗議申立書・・・・・・・・・・本部（主競技場1F会議室）

＜練習会場日程＞

	10月16日(土)	10月17日(日)
主 競 技 場	8:30～10:30 ●トラック競技 (1.2レーン)周回練習 (3.4.5.6レーン) (7.8レーン)ハードル ●跳躍競技(全般) 棒高跳は主競技場のみ ●ハンマー投(女子) 14:30～15:00	8:00～10:30 ●トラック競技 (1.2レーン)周回練習 (3.4.5.6レーン) (7.8レーン)ハードル ●跳躍競技(棒高跳以外) ●ハンマー投(男子) 10:00～10:30
雨 天 練 習 場	8:30～ ●トラック競技(2.3.4レーン直線) 周回練習(Jog程度)1・5レーン ●跳躍競技(走幅跳・三段跳)	8:00～ ●トラック競技(2.3.4レーン直線) 周回練習(Jog程度)1・5レーン ●跳躍競技(走幅跳・三段跳)
補 助 競 技 場	8:00～ ●トラック競技 (1.2レーン) 周回練習のみ (3.4.5.6レーン) Jog 以外 OK (7.8レーン) ハードル練習 ●跳躍競技 ▲三段跳は指定時間のみ (男子のみ) 8:00～10:30 (女子のみ) 10:30～13:00 ▲走幅跳は三段跳指定時間以外 ▲走高跳1ピットのみ ●投てき競技 ▲男子やり投 8:00～10:15 ▲女子やり投 10:15～12:20 ▲女子砲丸投 8:00～10:15 ▲男子砲丸投 10:15～12:20 ▲円盤投 14:00～17:00	8:00～ ●トラック競技 (1.2レーン) 周回練習のみ (3.4.5.6レーン) Jog 以外 OK (7.8レーン) ハードル練習 ●跳躍競技 ▲走幅跳 8:00～ ▲走高跳は指定時間のみ (女子のみ) 8:00～ 10:30 (男子のみ) 10:30～12:45 ●投てき競技 ▲女子円盤投 10:00～12:00 ▲男子円盤投 12:00～14:00